

「国土交通省公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名：（２）計画・設計から管理までの各段階における最適化 【１】計画・設計の見直し 】

ジオグリッドを用いた多目的広場の整備

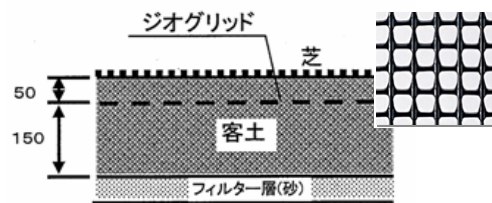
概要：新技術の用途を拡大することでコスト縮減を図り、効率的な事業を推進する
(従来) 駐車場や園路等に特化した荷重対応型の芝生保護材を採用
(新工法) 駐車場としての機能及び多様な利用者の快適性を確保しつつ、コスト縮減を図ることのできる新たなジオグリッド工法を開発

効果：①これまでは、駐車場としての機能を確保するため、芝生保護材を用いていたが、芝生の表面に突起があり、手触り、座り心地等が悪く、芝生広場としての利用には向いていなかった。本工法を採用することで、車両荷重における客土の不陸及び固結を抑制し、駐車場としての機能を確保するとともに、芝生広場としての快適な利用が確保できる。
②従来工法からジオグリッド工法への変更により工事費が65百万円→40百万円になり、25百万円(38%)のコスト縮減を実現。

従来の芝生保護材



ジオグリッド工法の構造



〔ジオグリッドの一体化効果により客土の変形が拘束されるとともに、ジオグリッドより下の客土の固結が抑制される。〕

多目的広場の利用イメージ

